

第3期那須塩原市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）（第4期特定健康診査等実施計画）（案）の概要

1 計画策定の趣旨（計画素案P2）

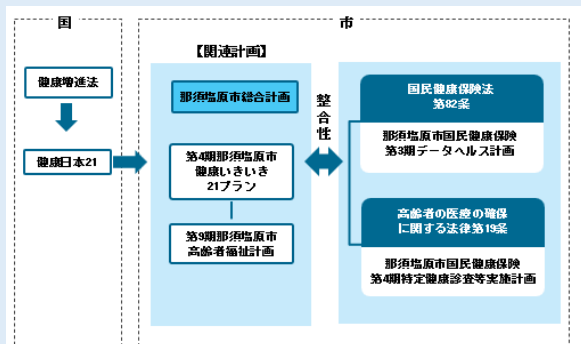
「データヘルス計画」(第2期)及び「特定健康診査等実施計画」(第3期)が令和5年度に最終年度を迎えることから、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定するものです。

- データヘルス計画…国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針(厚生労働省告示)により、データ分析に基づく保健事業の実施内容やその目的・目標を定めたもの
- 特定健康診査等実施計画…高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保健事業の中核をなす特定健康診査・特定保健指導の目標や実施方法等をそれぞれ定めたもの

2 計画の位置づけ及び体制、計画期間（計画素案P3～5）

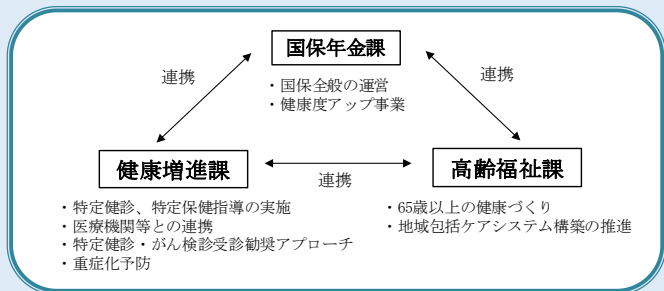
◆位置付け 本計画は関連する法令を踏まえると共に、他計画と調和のとれた内容とします。

◆計画期間 令和6年度から令和11年度までの6年間



◆実施体制

各保健事業の実施にあたって、関連する管轄部門と連携し実施します。



3 分析結果に基づく健康課題（計画素案P38～39）

I	男女ともに急性心筋梗塞の標準化死亡比(※1)が高い
II	男性は腎不全、女性は脳内出血の標準化死亡比が高い
III	入院医療費は男性の糖尿病、糖尿病性網膜症、女性の心筋梗塞、狭心症の標準化比が高い
IV	特定健診は40代、50代の受診率が低い
V	血糖、HbA1c(※2)の標準化率が高い
VI	60歳未満の健康度アップ事業の利用者が少ない
VII	60歳未満の人間ドック事業の利用者が少ない
VIII	被保険者一人当たりの医療費が上昇している
IX	ジェネリック医薬品普及率が男性25歳～29歳、女性40歳～44歳が低く80%未満である
X	受診行動の適正化が必要な、重複受診に該当する被保険者が存在する

※1 標準化死亡比…国を100とした場合の年齢調整後の死亡割合

※2 HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)…糖尿病の過去1～2カ月のコントロール状態の評価を行う指標

4 計画全体の目標（計画素案P40）

被保険者の生活の質の維持向上と健康の保持増進を図ると共に生活習慣病の発生と疾病の重症化を予防する。
また、医療機関受診の適正化を推進し医療費の適正化を図る。

5 計画全体の目的（計画素案P40）

番号	目的	健康課題
1	定期的に健診を受診し、自らの健康状態に応じた生活習慣の改善に取り組む人を増やす	I、IV
2	特定保健指導対象者の減少を図る	II、III
3	生活習慣病の重症化の予防を図る	V
4	生活習慣病の早期発見・早期治療を促進し、健康の保持増進を図る	VII
5	メタボリックシンドロームの予防・改善のため、運動習慣を定着させる	VI
6	適正な医療費の給付について確認する機会を作る	VIII
7	後発医薬品の使用促進により、医療費の増加抑制を図る	IX
8	適正受診・服薬を推進する	X